



高子綴言  
高日記



皇太后の御  
定子ヲ云々  
園白道隆云  
ノ女トテ元ハ  
中宮ノ千皇  
后ト稱ス清  
少納言此皇  
后ニ仕奉ル



松島日記



法華

去

皇后 不慮  
まことのまめしうかきまらあき  
まら 疎 更  
まら 者 更  
まら 更

まら 臣等

あま 華 孫 殺

まら 計

まら 尚

かく 隠 宿 世

あき 陀 未 迦 紀

Handwritten marks and symbols on the right page.

左大臣道長公

下野宇谷ハ  
アキタト云下  
三子ハ左江知  
ナリトハ左知

清原氏  
深養父  
後在位下  
雑色

顕忠  
下野守

元輔  
女子  
此女陸奥  
国赤松  
住之元下  
清少卿言  
カ伯母

清少卿言

乞ふる事常別別るはふをおほつれ欲

る顧る在殿殿ふあぬをかれ旅ひ旅

し稱言言各各年年未未起起

物物憂憂故故左左大臣大臣

御臺御臺盤盤所所

武武夫夫答答

野野ア三ア三

あふあふ氷氷のの今今ああるる

下下野野のの事事ははああるる

むむのの事事ははああるる

のの事事ははああるる

ろろのの事事ははああるる

甲斐甲斐のの事事ははああるる

ああのの事事ははああるる

いいのの事事ははああるる

いいのの事事ははああるる

いいのの事事ははああるる

いいのの事事ははああるる

いいのの事事ははああるる

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Japanese calligraphy (sōsho). The text is arranged in approximately 15 horizontal lines. Several characters are annotated with small red characters (kuzushiji) indicating specific phonetic or grammatical features:

- Line 1: 其巨葦 (其 巨 葦)
- Line 2: 可 (可)
- Line 3: 案 (案)
- Line 4: 連 (連)
- Line 5: 勞 (勞)
- Line 6: 鏡 (鏡)
- Line 7: 微 (微)
- Line 8: 伴 (伴)
- Line 9: 注 (注)
- Line 10: 昔 (昔)
- Line 11: 鳴 (鳴)
- Line 12: 海 (海)
- Line 13: 宿 (宿)
- Line 14: 住 (住)
- Line 15: 傳 (傳)
- Line 16: 落葉 (落 葉)
- Line 17: 三三等 (三 三 等)

... 招致 ...  
... 上中下 ...  
... 修行者 ...  
... 詔 ...  
... 昇 ...  
... 別 ...  
... いた ...  
... せ ...

... 開 ...  
... 和布刈 ...  
... 邪訛 ...  
... 真 ...  
... 鶴 ...  
... 便 ...  
... 一 ...  
... 二 ...  
... 三 ...



あつたしんちんはつたしんちん。つたしんちん  
におつたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。  
つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。  
つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。  
つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。  
つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。  
つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。  
つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。  
つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。  
つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。

つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。  
つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。  
つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。  
つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。  
つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。  
つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。  
つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。  
つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。  
つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。  
つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。つたしんちん。

おつたしんちん

注未

查

如

啼

廿日

沈咆

未

卯

等

計

頭

起

處

外

掃

可

誘

引

詣

昇

心

膽

罪

謝

所

扶

其

處

瀆









まはしつゝ。ひめはらうらうらとさしよかたし  
まはしつゝ

右三丁をこり記簿 ねらり地査圖を  
土佐守之俊宗

仁治皇帝之勅制之今信之朔  
親王之御中寫之平

仁治八十六代  
四條院  
道朝親王  
後圓融院  
百一代後小松院  
白土之上乘院  
官

此松より記はつたか  
お加えきしふたの  
くまの  
てたふ  
ね  
を  
たの  
く  
ま

○實休云本文あり  
ははの二字脱し  
元

中一老おろろくよはらうぶさる白く  
しれさくわくしおふまふくえんし  
そふくははらうぶさる白く  
しれさくわくしおふまふくえんし  
そふくははらうぶさる白く  
しれさくわくしおふまふくえんし  
そふくははらうぶさる白く  
しれさくわくしおふまふくえんし  
そふくははらうぶさる白く  
しれさくわくしおふまふくえんし

しれさくわくしおふまふくえんし  
そふくははらうぶさる白く  
しれさくわくしおふまふくえんし  
そふくははらうぶさる白く  
しれさくわくしおふまふくえんし  
そふくははらうぶさる白く  
しれさくわくしおふまふくえんし  
そふくははらうぶさる白く

伊勢守長良大老

此中脱文誤りありしを訂正し  
しれさくわくしおふまふくえんし  
そふくははらうぶさる白く  
しれさくわくしおふまふくえんし  
そふくははらうぶさる白く  
しれさくわくしおふまふくえんし  
そふくははらうぶさる白く  
しれさくわくしおふまふくえんし

伊後安人寛休

高永二毛百の  
しれさくわくしおふまふくえんし  
そふくははらうぶさる白く  
しれさくわくしおふまふくえんし  
そふくははらうぶさる白く  
しれさくわくしおふまふくえんし  
そふくははらうぶさる白く  
しれさくわくしおふまふくえんし

村田明也



